

令和4年度予算成立

一般会計予算討論の末 8対1で **可決**

反対 阿部 憲一 議員 健康・生命への配慮が足りない

新型コロナウイルス感染対策は、治療薬があるにも関わらず、なぜ危険なワクチンを打つかわかりません。
放射線健康不安等相談事業は、専門家の住民に対するマインドコントロール以外の何物でもなく、必要性を感じません。
イノシシ駆除の報奨金についても行政が動物を殺すということで根本的に反対です。
さらに、避難者を支援する項目がないことを強く非難して反対します。

賛成 黒田 政徳 議員 指定管理料再検討の判断を支持

町長が議論をくみ取って、指定管理者の指定を令和4年度のみとし、令和5年度からの指定管理料は改めて提案することをお約束いただきました。
今後とも行政と議会が町民の立場で何が大切か一緒に考える場になれば幸いです。
今回は町長の判断に感謝して賛成します。



一般会計予算の起立採決

令和4年第1回定例会を、3月9日から18日までの会期で開きました。
今回は令和4年度予算を中心に、条例の改正や補正予算など、提出された34の議案等をすべて原案のとおり可決しました。
(株)広野町振興公社を指定管理者として運営している二ツ沼総合公園と公設商業施設「ひろのてらす」の指定管理料の増額をめぐる議員の意見は真っ二つに分かれました。
指定管理の議案審議と採決結果を受けて、町は令和5年度、6年度の指定管理に関する債務負担行為を今後の議会で取り消し、指定管理料を再度検討し直すことになりました。

二ツ沼総合公園 ひろのてらす 指定管理料増額が争点に

二ツ沼総合公園の指定管理

反対 阿部 憲一 議員 競争原理を働かせるべき

競争原理を働かせるため、指定管理の期間を3年間から1年間に変更し、振興公社を含めてプロポーザルを行い、二ツ沼総合公園の今後についてアイデアを募り、最終的な判断をするべきだと考えますので反対します。

賛成 渡邊 正俊 議員 二ツ沼総合公園が利用できなくなる

今ここでこの議案を否決することで、二ツ沼総合公園の利用ができなくなることが考えられます。
公社の事業には、利益を追求すべき事業と町民の福祉のための事業があり、それらを一緒くたにして否決しては、町民の理解が得られないと考えますので賛成します。

反対 黒田 政徳 議員 増額の根拠が薄い

渡邊議員の賛成討論のとおり、一緒くたにしてはならないとは思いますが、このまま指定管理料を1500万円増額して議案を可決してしまうと、3年間の指定管理を行うことになってしまいます。
しっかりとした会社経営と資料に基づき見直しをするべきだと考えますので反対します。

賛成 北郷 伯弘 議員 コロナの影響も考慮すべき

コロナ禍の影響で、人の出入りが少なくなっている公園は二ツ沼公総合公園だけではないと思います。
また、振興公社は、ハウス園芸作物の栽培・研究、特産品の開発にもよく取り組んでいるように感じます。
コロナ禍を持ちこたえ、生産工程管理をしっかりと行っていただくことを期待して賛成します。

ひろのてらすの指定管理

反対 黒田 政徳 議員 こちらは黒字なのに増額

公設商業施設において、400万円の黒字に対して指定管理料を200万円増額するということには賛成できません。
指定管理の期間を3年間ではなく1年として、金額を精査する必要があると考えますので、反対します。

振興公社取締役のため、小磯 利雄 議員が除籍により8人で採決

可否同数 議長の裁決で可決